

(1) 県民スポーツの推進

現状と課題

- 本県の成人のうち、定期的（週1回以上）に運動・スポーツに取り組むスポーツ実施率は、平成25年度の調査以来、上昇傾向にあり、30年度は約5割まで向上しています。しかし、国が目指す目標値（成人65%程度、障がい者は40%程度）には及ばない状況です。特に働く世代や子育て世代が3~4割と低くなっています。
- 運動・スポーツに取り組む動機は、健康・体力づくり、楽しみや気晴らしなど多様であり、爽快感や達成感、他者との連帯感等の精神的な充足や喜びをもたらします。
- 一方、施設面、金銭面、多忙感などが運動しない阻害要因としてあげられています。
- スポーツの関わり方は、実際に「する人」だけでなく、プロスポーツの観戦等「みる人」、指導者やスポーツボランティアといった「ささえる（育てる）人」などがあり、県民生活においてスポーツが担う役割も、青少年の健全育成や地域社会の活性化など様々です。
- 令和元年5月に県立武道スポーツセンターが開館するなど、スポーツに親しむ環境を整備してきましたが、より多くの県民が生涯にわたり日常的にスポーツに親しめるよう、スポーツの意義や価値を共有し、今後もスポーツ環境を整備していくことが求められています。



青壮年を対象とした日常的な運動プログラム指導



総合型地域スポーツクラブでのラグビー体験教室

これからの基本方向

- 青少年[※]の体力を向上させるとともに、人格の形成の機会として積極的に活用し、次代を担う人材を育成するため、子どものスポーツ機会を充実させます。
- 心身の健康の保持・増進を図り、健康で活力に満ちた長寿社会を実現するため、幼児から高齢者までライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。
- 人や地域の交流を促進することで、地域の一体感や活力を醸成し、地域社会の再生に貢献するため、住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備します。
- 地域スポーツが優れたスポーツ選手を輩出し、そのスポーツ選手が地域スポーツに寄与するというスポーツ界の好循環を創出します。

主な取り組み

① 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成

- ライフステージに応じたスポーツの推進とスポーツ環境の充実
- 地域や職場におけるスポーツの推進
- 総合型地域スポーツクラブ[※]の育成・支援・活用・加入促進
- ライフステージに応じた多様なスポーツイベントの充実

見直し委員から一言
総合型地域スポーツクラブの取り組みを進めることが重要です。



② 県民スポーツを支える環境づくりの推進

- 「みる」「ささえる」スポーツイベントの充実
- スポーツボランティア活動の普及
- スポーツ情報提供システム[※]の構築
- 県立スポーツ施設の整備・充実
- 県民のスポーツ活動の支援体制の整備
- 学校体育施設・設備の整備・充実及び学校開放の推進



県民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しめる大分スポーツ公園



屋内スポーツの拠点となる県立武道スポーツセンター

③ スポーツ指導者の養成・確保と関係機関等との連携強化

- 県民の多様なニーズに応じた指導者の養成・確保
- 障がい者スポーツ指導者の養成
- 各種スポーツ関係団体、プロ・企業チームとの連携による地域スポーツの推進
- 研究機関・医療機関・大学との連携によるスポーツ医科学[※]に基づく安全対策等の推進

目標指標

指標名	年度	基準値	H30年度		R6年度
			目標値	実績値	目標値
成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)	25	40.5	48.5	50.9	56
総合型地域スポーツクラブの会員数(万人)	26	1.6	1.78	1.75	2.0

(2) 世界に羽ばたく選手の育成

現状と課題

- ラグビーワールドカップ2019大分開催の効果もあり、東京2020オリンピック・パラリンピック等の各種国際大会において、本県出身選手の活躍を期待する声が高まっています。
- 競技力の向上を図る上では、優れた才能を持ったジュニア選手を発掘し、長期的視点に基づいた一貫指導体制による育成・強化が必要です。
- 競技力を支える指導者の確保が困難な中、本県で育成・強化された優秀な選手が将来、県内に就職してオリンピックなどの国際大会等へ出場し、引退後は指導者となるなど、スポーツ人材の好循環を生む仕組みづくりが求められています。



小・中・高校生の一貫指導体制



世界を目指す本県出身水泳選手

これからの基本方向

- 優れた資質を有するジュニア選手の発掘に取り組むとともに、小・中・高等学校を通じた一貫指導体制の整備を図り、効果的な選手の育成・強化に取り組めます。
- 国内外の大会において本県出身選手が活躍できるよう、競技力強化体制の整備や、競技団体への支援に取り組めます。
- 国内外の大会での活躍に向けて本県出身選手の競技力を向上させるため、次代を担う指導者の養成・確保を図ります。
- 優秀選手が必要な支援・協力を得て競技活動に専念できるよう、関係団体等との連携により競技力を支える環境整備を推進します。

主な取り組み

① ジュニア期からの一貫指導体制の確立

- 優れた資質を有するジュニア選手の発掘
- 一貫指導体制の確立による効果的な選手の育成・強化

② 優秀選手の育成・強化

- 世界に通じる優秀選手（県選抜選手）の重点的・継続的な競技力の向上
- 国際大会誘致などの取り組みと連動した、国内外のトップレベルの選手・チームの招へい
- 競技力向上の拠点となる学校、企業、クラブチーム等への支援の充実

③ 競技力を支える人材の養成

- 高度な専門知識や指導技術を有する指導者の養成・確保
- 各種研修会の開催などによる次代を担う卓越した指導者の養成・資質向上
- 公認スポーツ指導者[※]の資格取得の推進
- スポーツ医科学を活用したサポート体制の整備・充実
- スーパーコーチ[※]などを活用した、指導者の異競技間等交流の促進



スポーツコーチサミット

④ 競技力を支える環境の整備

- 日本オリンピック委員会（JOC）や産業界等との連携による、優秀選手に対する県内企業への就職支援
- 関係団体等との連携・協力による最先端のスポーツ医科学[※]の活用促進
- SNS[※]等を活用した広報の充実



県内企業への就職支援により世界を目指す本県アスリート

目標指標

指標名	年度	基準値	H30年度		R6年度
			目標値	実績値	目標値
国際大会出場者数(人)	26	35	39	43	60

(3) スポーツによる地域の元気づくり

現状と課題

- 県内には、大分スポーツ公園総合競技場や県立武道スポーツセンターなど、様々な優れたスポーツ施設が整備されています。それらを活用して地域の元気づくりにつなげていくことが期待されています。
- 県内では3つのプロスポーツチームが活動しており、「みる」・「ささえる」などのスポーツの楽しみ方や関わり方が定着しつつあります。プロスポーツやスポーツイベントを活用して、地域の活性化につなげていくことが求められています。
- ラグビーワールドカップ2019では、海外から延べ10チームの選手や観戦客を迎え、成功裏に終わることができました。「ラグビーの魅力と感動の共有、グローバル人材の育成」、「インバウンド[※]」の多角化、「海外との継続的な交流」の3つのレガシーを将来に向けてつないでいくことが重要です。



プロスポーツ選手と児童との交流



柔道事前キャンプ

これからの基本方向

- 国際的なスポーツ大会や事前キャンプ、国内トップレベルのスポーツ大会の誘致に努めるほか、東京2020オリンピック・パラリンピックに参加するチームの事前キャンプを受け入れ、地域との交流や情報発信により、地域経済の活性化に貢献します。
- 県内のプロスポーツチームやスポーツイベントなどの地域資源[※]の活用により、県民のスポーツへの関心拡大と親しむ機運の醸成を図ります。
- ラグビーワールドカップ2019の成果を一過性のものとせず、着実に引き継いでいくことで、ラグビー文化の定着や国内外からの誘客、海外との交流による地域活性化などの取り組みを進めます。

主な取り組み

① 国際スポーツ大会等の誘致

- 大分スポーツ公園総合競技場や県立武道スポーツセンターなどを活用した、国際的なスポーツ大会や国内・九州レベルのスポーツ大会の誘致
- 国内、近隣諸国において開催が予定されている国際的なスポーツ大会の参加国事前キャンプの誘致
- 東京2020オリンピック・パラリンピック参加国事前キャンプの受け入れ
- キャンプ受入国との継続的な交流

② スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進

- 大規模スポーツイベントの観戦や県民が参加できる機会の創出
- 地域活性化に貢献する地域密着型プロスポーツへの支援
- プロスポーツチームの選手と地域の子どもたちや住民とのふれあいの場づくり
- 県内のスポーツ施設を活用したスポーツ合宿の誘致活動を県、市町村、競技団体、企業等によるスポーツコミッションを設置し一体的に実施
- 地域の強みを生かしてスポーツ施設に磨きをかけ、西日本有数の合宿地を目指した取り組みを推進
- 市町村と連携した合宿チームへの支援と地元住民との交流機会の拡大
- スポーツ施設と宿泊施設、観光情報等の一体的な情報発信による、スポーツツーリズムの推進
- スポーツの成長産業化に向けた、まちづくりや地域活性化の核となるスタジアムの実現

見直し委員から一言

スポーツを通じたまちづくりは郷土愛や生きがいの創出につながるため、そのための機運醸成が重要です。



③ ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承

- 大分で試合を行った国・地域とのつながりを生かしたグローバル人材の育成とインバウンドの多角化、国際交流の推進
- 世界トップクラスの国際試合等の誘致



県内各地で実施されるスポーツ合宿

目標指標

指標名	年度	基準値	H30年度		R6年度
			目標値	実績値	目標値
合宿等受入人数(人)	30	60,386	-	60,386	90,000